

農地・農業用施設を守りたい

多面的機能支払交付金事業の活動を紹介

現在全国的に集落の高齢化や混在化の進行により、農地や農業用水などの資源を守る地域のまとまりが弱まってきております。このような状況下で、農村環境を地域ぐるみで保全し、故郷の農村風景を守っていくことを目的として実施されている、多面的機能支払交付金事業（旧農地・水保全管理支払交付金事業）も今年で11年目に入りました。

本町では、9つの集落が本事業に取り組み、農道の補修や除草・用水の泥上げ等を共同で実施することにより、農村環境資源を保全するだけでなく、集落の結びつきが強まることにもつながっております。また、集落の自力施工により砂利敷の農道をコンクリート舗装へ更新することや土水路をコンクリート水路へ更新することなど施設の長寿命化も実施されております。

加えて、本事業は農村環境資源を魅力あるものにするために、農地や農道等を利用した花の植栽等の景観形成も行っており、取組の一部を紹介します。

※まだ活動をしていない地区でも活動組織を設立できます。活動にご興味のある地区は、まちづくり課産業係（☎2114）へお問い合わせください。



並木地区：農道沿いにアジサイを植栽しております。年を重ねるごとに数を増すアジサイが、心を和ませてくれます。



毛成地区：町道武田毛成線沿いに植栽をしています。子ども会も参加し、色鮮やかな花を植えました。



立野地区：県道沿いにアジサイやビオラなどが植栽され、通学途中の生徒にも憩いを与えました。



古原地区：町道武田古原線沿いの農用地法面を利用して、農協女性部と老人クラブが中心となってヒマワリ等を植栽しました。